

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年10月16日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	岸和田市教育委員会	代表者名	大下 達哉
担当者部署	生涯学習部図書館	連絡先電話番号	072-422-2142
担当者役職	分館奉仕担当長	担当者氏名	藤田貴美
住所	596-0073 大阪府岸和田市岸城町1-18		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	岡本 真
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	図書館所蔵資料のデジタルアーカイブの手法について学ぶ場とし、具体方策について、丁寧に教えていただいた。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年10月15日	15時00分	17時00分		120
3-2. 派遣場所	会場名	岸和田市立図書館	最寄駅	南海岸和田駅	
	所在地	大阪府岸和田市岸城町1-18	最寄駅からの交通手段	徒歩	
	派遣形態	支援・助言(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	行政職員、地域資料研究者など	9人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	図書館にある古文書や貴重資料を整理し、公開していく必要のある郷土資料を専属の職員が不在の中、どう取り組んでいくかが課題である。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	どのようにデジタルアーカイブすればよいか、基本的なルールを学び、デジタルアーカイブに着手しはじめるきっかけとする。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	数種類あるコンテンツの公開のルールを決めておき、どのジャンルのものであっても、基本的な登録方法は担当者が変わっても継続できるような方法で取り組む。すべてを一度に取り組むとたいへんなので、まずは、こういうものがあるという一覧を公開しておき、あとは、少しずつ公開していくという形で取り組めばよいということを学んだ。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	一度に公開しようとせず、少しずつできる範囲から進めていけばよいというアドバイスに、フレームとルール作りから始めて取り組むという道筋ができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	今年度中には着手する予定。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	令和3年度中の公開	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

